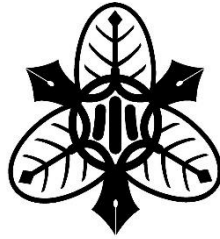


# 学校だより



## 学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和6年12月10日 第8号

文責： 校長 井 正成

師走を迎え、12月らしい寒さが訪れました。校地内の銀杏も先週あたりに黄色くなってきました。やはり今年は、季節が数週間ずれてきているような気がしています。

先週は、県の学力・学習状況調査や持久走大会、プロの劇団を迎えての観劇会が行われたりと、あわただしくも充実した毎日でした。そんな中に、様々な感染症に罹患する児童が増加しており、欠席者も多い状況です。残り少ない2学期です。睡眠や食事などの生活リズムにご配慮いただき、いい2学期の締めくくりができるよう、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## それぞれの目標に向かってがんばった持久走

全校での実施ができなかった持久走大会を、先週、学年ごとに実施しました。たくさんの保護者の方に応援にきていただき、大変ありがとうございました。持久走大会は、子供たちの真剣な表情やがんばる姿を見ることができる貴重な機会でもあり、子供たちから元気や勇気をもらうことができる機会でもあると感じています。見ていただいた保護者の皆様も同じ思いではなかったかと思います。

今回、走れなかった子供たちも、これまでの練習の過程で精いっぱい頑張ってきました。練習や大会を通して、いろんなことを学び、成長したものと思います。

マラソンはよく人生にたとえられます。走っていると必ず苦しい時がありますが、それに負けないようにする「自分との闘い」でもあります。また、持久走は、コツコツがんばれば、記録が確実に伸びていきます。今回それを実感した子供たちも多かったと思います。「苦しさやきつさに負けない心」「コツコツ努力すること」は、勉強においても大切なことであり、変化の激しい社会を生きていくうえでも大切なことです。これからも、このような機会は何度も訪れるかと思いますが、この経験を繰り返すことで、強い心と体を培ってほしいものです。

また、生涯体育ということが言われます。人生を豊かに生きていく体力を培うためにも、普段から歩く、走る、外で遊ぶといった日常の運動の機会をできるだけ提供・確保していきたいものです。これから寒さも本格化します。寒さに負けない元気な体と心を培ってほしいです。

## アスリートクラブ熊本（ロアツソ熊本）様よりボールをいただきました

アスリートクラブ熊本様と熊本トヨタ自動車株式会社様との共同事業「1ゴールアシスト5プログラム（1ゴールごとにボール5個を県内の小学校に贈呈する事業）」により、阿蘇市内の小学校にボールが贈呈され、代表して本校の児童がボールを受け取りました。当日は、ロアツソ熊本のマスコットである「ロアツソ君」も来校し、子供たちに直接ボールを渡していただきました。子供たちは「ロアツソ君」と触れ合うこともできて大喜びでした。ロアツソ熊本のスタッフの方から「このボールを使って、元気に遊んでください」というお言葉をいただきました。

本校の子供たちは、休み時間によくサッカーをして遊んでいます。昨年度いただいた大谷選手からのグローブも、毎日、子供たちが使って楽しんでいますが、このボールもたくさん使って楽しく仲よく遊んでほしいものです。

## 楽しい学校生活を送るために

本校では、いじめの未然防止のために、定期的にアンケートや教育相談を実施していますが、12月は県の施策として行われる「心のアンケート」を実施します。

子供たちには、日頃より「いじめは絶対にしてはいけない」ということを繰り返し指導しているところですが、いじめ事案等が年に数件起きているのが現状です。

いじめを含め子供同士のけんかやトラブルがあったときは、学校では、当事者及び周囲の児童に聴き取りを行って事実関係を確認し、子供たちへの指導と保護者への連絡をして再発防止に努めているところです。

いじめは、子供の人格形成に大きな影響を与えると共に、人権を大きく侵害する行為です。どの子供もいじめの加害者になることも、被害者になることもあってはいけません。また、傍観者になることもあってはいけません。

「いじめ防止対策推進法」で、「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義されています。

子供たちは、よく、自分の感情を「暴力」「暴言」「仲間はずし」「悪口」「無視」等で表現し、相手に苦痛を与え、その行為が発展して「いじめ」になってしまうケースもあります。そうならないよう、子供たちには「いやなことがあったら、正しく相手に伝える」「信頼できる誰かに相談する」など「自分の気持ちを正しく伝える」力をつけていく必要があります。しかし、熊本県公立学校の「心のアンケート」の結果では、毎年約3割の児童が「いじめられたことを誰にも相談していない」と答えています。

今一度、子供たちをいじめの加害者、被害者、傍観者にしないよう、家庭でも、子供さんの思いや心に寄り添うことを大切にしながら、「自分がされていやなことは、人にしない」「いやなことがあったら、相手や誰かに正しく伝える」「おかしいと思うことはおかしいと言う」ことなどを、普段からご指導いただくとともに、自分の思いを素直に話すことができる環境づくりをお願いします。

「人は人によって人になる」と言われます。学校は、一人一人個性の違う子供たち同士が関わり合いながら、自分のことや友達のこと、人間関係や善悪を学ぶ場でもあります。私たち職員は、子供たちの言動を日々注視しながら、子供たちを正しい方向に導けるよう必要な指導を行っているところです。

ご家庭に、理解や協力を求めることも多いかと思いますが、一人一人の子供たちがよりよい方向に成長することができるよう、同じ方向を向いて指導していきたいと思っていますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。また、子供さんのことで気になることがありましたら、遠慮なく学校までご相談ください

※ 12月12日（木）は2学期最後の授業参観です（14：05～）。ご来校をお待ちしています。

学級懇談も行います。担任と懇談できる貴重な機会です。是非、懇談会にもご参加ください。

※ 来年度の在籍希望状況の調査をお願いしておりますが、締め切りを12月13日（金）としております。まだの方は、提出をお願いいたします。